



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 サトレストランシシステムズ株式会社

コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員副社長 (氏名) 重里 政彦

TEL 06-7222-3101

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,647	37.8	556	20.9	584	36.7	305	9.7
26年3月期第2四半期	13,531	6.4	460	39.1	427	59.9	278	96.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 341百万円 (15.2%) 26年3月期第2四半期 296百万円 (189.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	10.84	—
26年3月期第2四半期	9.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	23,455	9,824	41.3	343.55
26年3月期	23,816	9,567	39.6	334.56

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,691百万円 26年3月期 9,437百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	14.5	1,000	12.5	950	12.2	600	16.7	21.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	28,209,080 株	26年3月期	28,209,080 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	122 株	26年3月期	122 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	28,208,958 株	26年3月期2Q	28,208,990 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は増収増益を達成し、売上高が前年同期比51億16百万円(37.8%)増加の186億47百万円、営業利益は前年同期比96百万円(20.9%)増加の5億56百万円、経常利益は前年同期比1億56百万円(36.7%)増加の5億84百万円、四半期純利益は前年同期比26百万円(9.7%)増加の3億5百万円となりました。増収の主な要因としましては、平成25年7月に子会社化した株式会社フーズネットの業績を取り込んだことが、大きく寄与しております。また、懸念されました消費税増税による駆け込み需要の反動や可処分所得の実質低下による売上高への影響は、限定的な範囲に留まりました。収益面につきましては、増収および販管費の適切なコントロールによる効果と、為替差益の影響等により増益となりました。

当社グループは新中期経営計画の達成に向けて、店舗出店施策を最重要課題と位置づけ、出店目標の達成に向けた取組みを推進しております。新中期経営計画初年度にあたる当連結会計年度の出店予定数は、直営店とFC店合計で35店舗を計画しており、当第2四半期連結累計期間の出店実績としましては、「天井・天ぶら本舗 さん天」業態で直営2店舗、「にぎり長次郎」業態で直営1店舗、「かつや」業態で直営1店舗、FC3店舗の計4店舗、全業態合計で7店舗をオープンいたしました。なお、上記出店済み店舗に加え10店舗の出店契約をすでに締結しております。(平成26年9月末現在)

海外展開といたしましては、経済成長著しいタイ市場にて、より多くの方々に本物の和食をリーズナブルな価格で提供することで、豊かな食文化に貢献することを目指し、平成26年3月に同国において高級日本食レストラン業を展開する日本亭グループが設立した日本亭サト株式会社に対して、平成26年8月にタイ消費財最大手であるサハグループと共に、出資をいたしました。今後は、台湾、インドネシアに続きタイでの事業拡大を目指します。台湾におきましては、平成26年9月18日に同国3店舗目の出店となる、一人鍋新業態「鍋上郡」1号店を台北市にオープンいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は284店舗(対前年同期比11店舗の増加)となりました。その内訳は、「和食さと」業態197店舗、「すし半」業態13店舗、「さん天」業態8店舗、「にぎり長次郎」業態51店舗(「CHOJIRO」業態含む)、「都人」業態1店舗、「にぎり忠次郎」業態2店舗、「かつや」業態12店舗であります。なお、当社グループのFC店舗数は、「都人」業態20店舗、「かつや」業態10店舗の合計30店舗、海外店舗数は、台湾3店舗、インドネシア1店舗の合計4店舗で、国内外のグループ総店舗数は318店舗となりました。

営業施策につきましては、当社グループは「最も顧客に信頼されるレストランの実現」を目指し、諸施策を積極的に推進するとともに、新中期経営計画の基本方針「100年企業として必要不可欠な社会的インフラになること」を実現すべく、ファストカジュアル業態の出店加速や既存業態の収益力向上に向けた取組みを続けてまいりました。具体的な施策といたしましては、株式会社フーズネットとのシナジー効果創出に向けた取組みとして、平成26年10月からの物流統合にむけた物流システムや店舗発注システムの改修を実施し、また主力業態である「和食さと」におきましては、お客様をお待たせしないことを最大のサービスと捉え、タブレット端末を利用したテーブルオーダーシステムの全店への導入を平成26年7月に完了いたしました。

各業態の営業施策といたしましては、「和食さと」業態にてご好評を頂いているしゃぶしゃぶ食べ放題「さとしゃぶ」のブラッシュアップ策として、選べる出汁の変更やお寿司や季節の一品料理も食べ放題となる、プレミアムコースの商品の入れ替えを継続して行うとともに、「和食さと」公式キャラクター「わっしょくん」を用いた販促施策も開始いたしました。「すし半」業態におきましては、松茸、太刀魚等の旬の素材を使用した「すし半」ならではの本物感・上質感を追求した季節感あふれるフェアや、敬老の日に合わせてシルバー層をターゲットとする販促施策を行い好評を頂きました。また、「にぎり長次郎」業態におきましては、お客様に「旨い!」と言っていただける事を最大の喜びとし、新鮮なネタを使用した旬のフェアを実施するとともに、5店舗にて改装を行っております。

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、セグメントの業績に関する記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、234億55百万円(前連結会計年度末比3億60百万円の減少)となりました。

#### (資産)

流動資産は、67億58百万円(前連結会計年度末比5億57百万円の減少)となりました。これは主に、現金及び預金の減少5億20百万円、原材料及び貯蔵品の減少47百万円などであります。

固定資産は、166億92百万円(前連結会計年度末比1億97百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産のその他(純額)の増加3億5百万円、建物(純額)の減少93百万円などであります。

## (負債)

流動負債は、65億20百万円（前連結会計年度末比3億31百万円の減少）となりました。これは主に、未払金の減少1億69百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億47百万円などです。

固定負債は、71億10百万円（前連結会計年度末比2億86百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少4億94百万円、固定負債その他の増加2億51百万円などです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、98億24百万円（前連結会計年度末比2億56百万円の増加）となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億20百万円減少し、50億13百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億71百万円（前年同期は同5億74百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億50百万円、減価償却費6億26百万円などです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億34百万円（前年同期は同18億60百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億25百万円、無形固定資産の取得による支出90百万円などです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8億67百万円（前年同期は17億79百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の純減6億43百万円、配当金の支払いによる支出84百万円などです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月12日の決算短信に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,533,179	5,013,159
売掛金	485,558	488,835
商品	34,632	36,732
原材料及び貯蔵品	644,900	597,776
繰延税金資産	236,864	189,959
その他	380,735	432,107
貸倒引当金	△620	△458
流動資産合計	7,315,250	6,758,112
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,629,133	2,535,351
土地	4,742,506	4,742,506
その他(純額)	1,783,152	2,088,238
有形固定資産合計	9,154,792	9,366,097
無形固定資産		
のれん	1,296,192	1,251,237
その他	792,918	832,872
無形固定資産合計	2,089,110	2,084,110
投資その他の資産		
投資有価証券	669,801	699,453
長期貸付金	635,831	627,073
差入保証金	3,130,625	3,055,558
繰延税金資産	479,838	472,905
その他	351,650	403,187
貸倒引当金	△16,295	△15,449
投資その他の資産合計	5,251,451	5,242,727
固定資産合計	16,495,354	16,692,935
繰延資産	5,863	4,558
資産合計	23,816,468	23,455,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,101,403	980,900
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,613,496	2,465,684
未払金	1,536,704	1,367,292
未払法人税等	234,846	247,104
賞与引当金	413,336	309,096
その他	851,970	1,050,231
流動負債合計	6,851,757	6,520,309
固定負債		
社債	150,000	100,000
長期借入金	5,408,383	4,914,019
再評価に係る繰延税金負債	319,828	319,828
繰延税金負債	100,769	97,126
役員退職慰労引当金	31,403	31,403
資産除去債務	454,910	464,798
その他	931,941	1,183,739
固定負債合計	7,397,236	7,110,915
負債合計	14,248,993	13,631,224
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,361,756	6,361,756
資本剰余金	2,810,575	2,810,575
利益剰余金	779,318	1,000,571
自己株式	△85	△85
株主資本合計	9,951,564	10,172,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,106	163,219
土地再評価差額金	△644,981	△644,981
その他の包括利益累計額合計	△513,874	△481,761
少数株主持分	129,785	133,325
純資産合計	9,567,474	9,824,381
負債純資産合計	23,816,468	23,455,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	13,531,157	18,647,730
売上原価	4,203,615	6,358,194
売上総利益	9,327,542	12,289,536
販売費及び一般管理費	8,866,867	11,732,551
営業利益	460,675	556,984
営業外収益		
受取利息	5,394	6,401
受取配当金	7,106	8,602
受取家賃	41,829	51,021
為替差益	13,411	62,048
雑収入	32,097	36,834
営業外収益合計	99,839	164,907
営業外費用		
支払利息	69,918	79,512
不動産賃貸費用	30,864	41,914
雑損失	32,533	16,337
営業外費用合計	133,316	137,764
経常利益	427,198	584,127
特別利益		
固定資産売却益	—	4,129
特別利益合計	—	4,129
特別損失		
固定資産除却損	12,603	8,905
投資有価証券評価損	6,203	26,084
その他の投資評価損	2,250	—
賃貸借契約解約損	—	2,400
特別損失合計	21,056	37,390
税金等調整前四半期純利益	406,141	550,866
法人税、住民税及び事業税	86,803	196,292
法人税等調整額	50,693	45,153
法人税等合計	137,497	241,446
少数株主損益調整前四半期純利益	268,644	309,420
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△10,275	3,540
四半期純利益	278,919	305,879



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	268,644	309,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,726	32,113
その他の包括利益合計	27,726	32,113
四半期包括利益	296,370	341,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,645	337,993
少数株主に係る四半期包括利益	△10,275	3,540

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	406,141	550,866
減価償却費	392,676	626,228
のれん償却額	—	44,954
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56,744	△104,240
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,007
閉店等損失引当金の増減額 (△は減少)	△50,000	—
受取利息及び受取配当金	△12,501	△15,003
支払利息	69,918	79,512
投資有価証券評価損	6,203	26,084
投資その他の資産評価損	2,250	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△4,129
有形固定資産除却損	12,603	8,905
賃貸借契約解約損	—	2,400
売上債権の増減額 (△は増加)	△909	△3,276
たな卸資産の増減額 (△は増加)	190,421	45,023
仕入債務の増減額 (△は減少)	△128,130	△120,503
未払金の増減額 (△は減少)	△140,526	△175,589
その他	99,214	166,237
小計	790,616	1,126,465
利息及び配当金の受取額	7,175	8,440
利息の支払額	△74,061	△79,155
保険金の受取額	5,544	—
法人税等の支払額	△154,751	△184,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	574,523	871,007
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△252,840	△425,624
有形固定資産の売却による収入	—	4,239
投資有価証券の取得による支出	△41,420	△18,582
無形固定資産の取得による支出	△37,307	△90,119
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,488,676	—
差入保証金の差入による支出	△5,199	△42,663
差入保証金の回収による収入	69,193	85,491
建設協力金の支払による支出	△74,000	△65,000
建設協力金の回収による収入	35,999	44,211
その他	△66,726	△26,895
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,860,977	△534,944
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	75,000	—
長期借入れによる収入	3,000,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,131,807	△1,443,463
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△57,433	△89,457
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
配当金の支払額	△56,417	△84,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,779,340	△867,547
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,868	11,465
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	525,755	△520,020
現金及び現金同等物の期首残高	5,474,408	5,533,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,000,163	5,013,159

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。